



ほけんだよい

～すくすくげんき～



救急箱をチェックしよう

ご家庭に救急箱はありますか？
お子さまがけがをしたり、具合が悪くなった時に
すぐに使えるように準備をしておきましょう。

- 中身を点検しておきましょう（薬、ガーゼ、テープ、爪切り、ピンセット、ばんそうこう、体温計、脱脂綿、綿棒、包帯、はさみ、は入れておくと便利です）。
- 薬の使用期限は1年に1度は確認しましょう。
- 消耗品は使ったら買い足しておきましょう。

おうちの中にも事故やけがを招く危険な物がたくさんあります。事故を防ぐために、確認をしてみましょう。

・子どもの手の届く場所に置いてはいけない物

（薬、洗剤、たばこ、ライター、ポット、炊飯器、包丁などの刃物、針、子どもが飲み込める大きさの細かい物など）

- ・踏み台になる物はベランダに置かない
- ・コンセントなどをいたずらできないようにする
- ・遊び食べに注意する（食べ物に詰まることがある）
- ・浴室には子ども1人で勝手に入れないよう工夫する

おしらせ

9月末で乳児医療証の期限が切れます

9月上旬より各家庭に10月から使用できる乳児医療証が届く予定です。

9月中旬にコピーの貼り付け台紙を配布致しますので、保険証と乳児医療証両方のコピーを貼り付け9月27日までに

手渡して職員に提出をお願いいたします。

8月お休み状況

- 熱：42名 咳鼻水：10名
- 突発性発疹：1名
- RSウイルス感染症：1名
- 中耳炎：3名
- ヘルパンギーナ：2名
- 新型コロナウイルス感染症：5名
- 嘔吐下痢：5名 気管支炎：1名

これから秋になるので、体調管理に気を付けましょう。

9月9日は「救急の日」 ケガをした時の対応を見直しましょう

頭を打ったら…

まず患部を冷やし安静にします。頭部外傷は、打撲によるたんこぶから、命に関わる重症なものまであります。6時間以内（通常は1時間以内）に嘔吐などの症状が見られた場合は、早急に受診しましょう。また、1歳くらいまでの乳児は、頭を打って1か月以上たつてから「慢性硬膜下血腫」という合併症をおこす場合があるので注意が必要です。

頭を打ってから1日くらいまでの注意事項

- ・顔色が悪い
- ・嘔吐する
- ・痙攣をおこす
- ・次第にぼんやりとして、声をかけないとすぐに眠ってしまう。
- ・手足の力が入りにくい
- ・鼻血が続いたり、鼻や耳から水分が流れ出る
- ・物が2重に見える
- ・頭痛がだんだん強くなる

このような症状が見られたらすぐに受診しましょう。

やけど

やけどをしたときは、できるだけ早く冷やすことが大切です。冷やすときは流水が最も適しています。やけどをした部分が赤いだけなら、しばらく冷やして様子を見ましょう。水疱が破れていたい時は、食品用ラップで傷を覆い、その上から冷やすとよいでしょう。水疱ができたり、水疱が破れて傷になった時は、痛みがある程度落ち着くまで冷やして受診しましょう。

指を挟んだ

指を挟んだ時は、まず水道水や氷水などで指を冷やします。



すぐ泣き止んで腫れもなく、自分で指を曲げられるか確認をしましょう。



爪がはがれてしまったら

爪がはがれてしまった場合は、無理にはがしてはいけません。患部を消毒し、そのまま包帯などを巻いて固定します。完全にはがれてしまった場合でも、捨てずに元の位置に乗せて固定してから受診しましょう。



指を挟む事故を予防するために、ご家庭では衝撃を和らげるセーフティーグッズや、ストッパーをドアに取り付ける工夫をしましょう。また、ドアの開閉に注意します。引き出しや家具の扉を自分で開けられないようにするなどの安全に関する対応も大切です。

